

# SANS FRONTIÈRES

## vol.35

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

### はじめに

2019年度の医歯薬コースは3年生37名、2年生56名、1年生40名の計133名で構成されています。

この「医歯薬通信」は医歯薬コース生の活動とその感想を記録する他、進学情報や推薦図書、担任の先生方からのアドバイスなど、役立つ情報をコース生にお伝えするものです。見慣れないこの名前はフランス語で「Médecins Sans Frontières(国境なき医師団)」に因<sup>ちな</sup>んで付けられています。「境界無しに」という意味で、医療人としての心構えを表しています。

「平成」から「令和」に元号が変わります。世の中も変化していきますが、変わらないもの、変えてはいけないものもあるのではないのでしょうか。皆さんには医歯薬コースで学び、「人間とは」「生きるとは」など根本的で大切なことを考え、自分なりの答を見つけてほしいと考えています。

### 2018年度進学状況

2018年度の医歯薬コースの卒業生は31名。延べ人数で国公立大学26名、医療系学部57名の合格を果たしました。医学部医学科への現役合格者もあり、皆、頑張りました。ここ数年、大学入試を取り巻く環境が変化しています。その中で志望大学や志望各部への合格を果たすためには、目先の情報に踊らされないことが大切です。

もちろん、情報収集は大切ですが、その前にしっかりした学力が必要なのは言うまでもありません。制度や方式が変わっても、身につけるべき基礎学力が重要なのは変わらないのです。また、自分の志望をしっかりと持ち、そのために努力を続けたり、最後まで諦めずに挑戦したりする精神力が必要だと強く感じます。

まず、自分の足場を確認し、固めましょう。不安や焦りを感じたら、先生方に相談してみましょう。先生方は常に皆さんを応援し、助力を惜しみません。

### 総合学習発表会（1年生発表）



3月16日に総合学習発表会が行われました。今回の発表者は1年生です。慣れないことに緊張しながらもしっかり発表していました。聞いていた2

年生も積極的に質問をしてくれました。頂いた意見をもとにさらに学習を深めていき、10月にその成果を発表する予定です。

#### 【研究テーマ】

『行列のできる診療所』『精神のすゝめ』『#SYNDROME』

『精神保健福祉の改革ビジョン』『肌について』『WARNING! The Stress』

『ユニバーサルデザインが作る未来の医療』『地域医療』『ジェネリックを利用すべきか』

『アルビノ』『人間の品種改良』

### 救急救命講習会



医歯薬コース生は1年次の春休みに救急救命講習を受けます。2018年度は3月25日と27日に講習会が開かれました。

「胸骨圧迫」「人工呼吸」「AEDの使用法」などの講習を受けました。「胸骨圧迫は力が必要」「腕が痛くなった」「位置を決めるのが難しい」「胸骨圧迫の重要性がわかった」などの感想がありました。皆、積極的に取り組んでいました。

## 北茨城地域医療見学

以前、医師講演会において頂いた筑波大学の横谷先生にご紹介頂き、毎年春休み中に北茨城市民病院附属家庭医療センターの見学をさせていただいています。2018年度は12名のコース生が見学し、受付業務の見学から模擬診療まで、普段できない貴重な経験をさせていただきました。「受付の大切さを知った。地域医療はおもしろいと感じた。」医師に求められていることを患者さんからじかに伺ったり、患者さんに安心感を与えるために医療者が何をしているかを感じ取ったり、参加した生徒たちは、とても大切なことを学んだようです。

## 医学部の授業体験

3月23日、県主催の医学部進学志望者対象のワークショップに、3名のコース生が参加しました。医師や医学生の講演や、患者の状況から身体のどこに異常があるかを考えるグループワークが行われました。現役の医学生からの勉強方法の話や、医学についての話は、たいへん参考になり、他校の生徒との対話も大きな刺激になったようです。

「医者になることは、非常に難しく、また非常に大きな責任を背負うものなのだと思った」「学校の中だけでは知る事の出来ないことや、感じる事の出来ないレベル・意識の違いを感じた」「とにかく医学部に入るために、勉学を人より頑張ろうと思った」(新2年)

## 城南病院 1日医師体験

春休み中に参加した生徒の感想です。

今回、2回目の城南病院での医師体験だったので、前回とは異なり、午前中は理学療法士の方とリハビリに必要な患者とのやりとりを見学してリハビリについて教えてもらいました。午後は訪問看護に同行し、普段の看護をする患者の家族と本看護師との連携体制について知ることができました。医療関連者のいろいろな視点からどう患者と関わるのか、医師はどういった立ち位置なのかを知ることができたのが良かったです。(新3年)

## こども病院見学

3月27日、県立こども病院での一日看護体験に参加した生徒の感想です。「小児看護についてたくさんのことを学びました。NICUやHCUなどのたくさんの病棟に別れていて、それぞれ違った看護のしかたがありました。しかし、思いやりの心を持つことはどの病棟にも共通していることだと思いました。」(新2年)

## さくらロードレースボランティア参加

4月7日、第19回日立さくらロードレースのボランティアで、医歯薬コース生26名がボランティアとして活動しました。毎年、多数のコース生が積極的に活動をしています。生徒の感想を紹介します。

さくらロードレースのボランティアに参加するのは2回目でした。前回と同様タグ回収をして、走ってきた人のタグを切る時に「お疲れ様でした」と声を掛けると「ありがとう」と言ってくれる人がたくさんいて、やりがいを感じました。来年は参加できませんが、下級生達がさくらロードレースを通してボランティアのやりがい(意味)を体験してほしいです。(新3年)

## ホールの書籍について

1階ホールには、医歯薬コース生に役立つ図書を置いています。気軽に手に取ってほしいのですが、皆のために置いている本ですから、丁寧に扱ってください。借りたい時は第1職員室の須田先生に申し出てください。

比較的新しい図書は、中央のテーブルに置いてあります。

